

【別紙様式2】(小学校用)

フロンティアスクール用報告書

都道府県名	広島県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	東広島市立 西志和小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	2	2	9	23
児童数	39	37	33	33	37	49	5	233	

研究の概要

1 研究主題

<p>基礎学力を確かなものにする指導の工夫 ~習熟度に応じた少人数指導を通して~</p>
--

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生・算数 38名という多人数の学級の、児童一人一人の実態や、個人差に応じる。 ・ 2年生・国語 当該教科に関する研究実績を基に、習熟に応じた指導の研究を進める ・ 3年生・国語 習熟に応じた指導の研究を進め、教材開発をする。 ・ 4年生・算数 理解の状況に差がある実態から、習熟度別指導、少人数指導を進め、基礎学力を定着させる。 ・ 5年生・算数 理解の状況に差が大きい実態から、少人数指導を取り入れ、基礎学力の定着と発展をさせる。また、中学校との連携についての研究に取り組む。 ・ 6年生・国語 習熟に応じた学習を取り入れ、児童の表現力を伸ばす研究を進める。また、中学校との連携についての研究に取り組む。
--

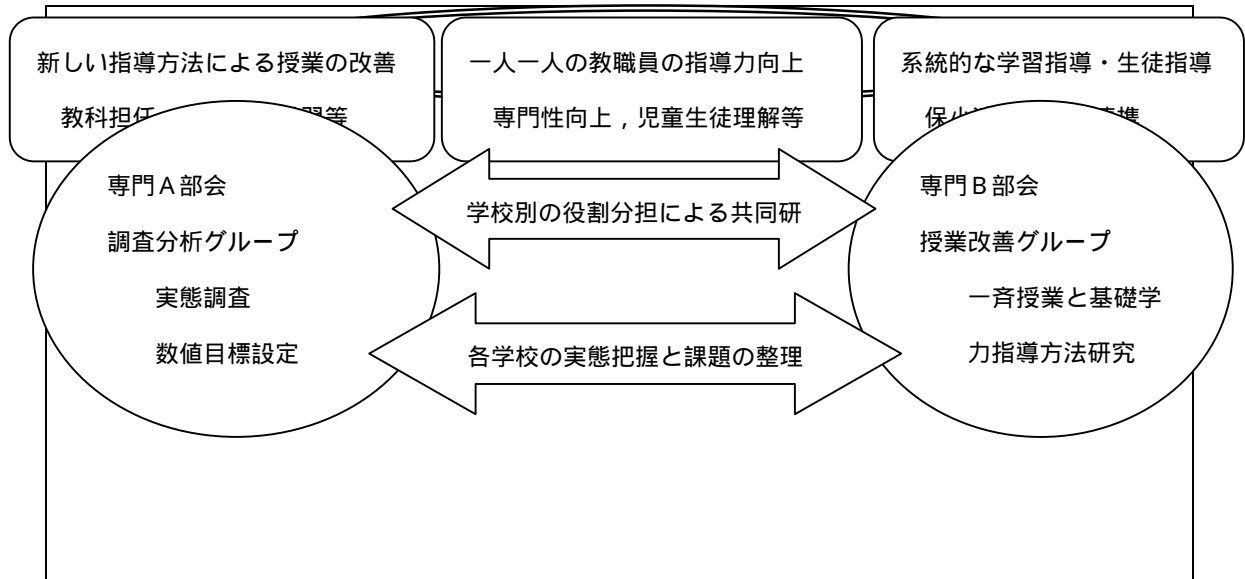
(2) 年次ごとの計画

平成十四年度	<p>テーマ 「基礎学力を確かなものにする指導の工夫」 ～継続的な学習と習熟度に応じた少人数指導を通して～</p> <p>研究仮説 国語科・算数科の学習過程において、個人差に応じた弾力的な指導をすれば、確かな学力をつけることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>検証の視点1 国語科・算数科の学習過程において、個人差に応じた弾力的な指導をすることができたか。</p> <p>検証の視点2 確かな学力をつけることができたか。</p> <p>検証の方法 事前・事後調査、授業記録、ノートの記述内容、感想、教師による評価、自己評価、アンケートなど</p> <p>弾力的な指導 少人数指導、TTによる個別指導、習熟度別指導、継続的な学習 読書タイム、たかはちタイム、視写学習、日記指導</p>
--------	--

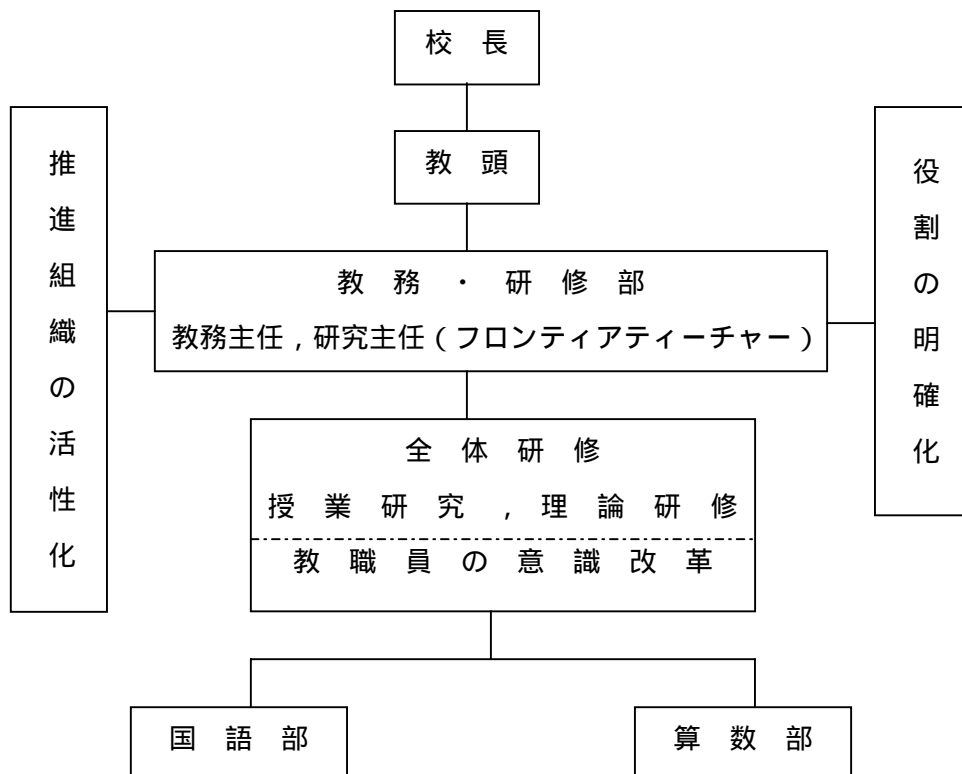
平成十五年度	<p>テーマ 基礎学力を確かなものにする指導の工夫 ～習熟度に応じた少人数指導を通して～</p> <p>研究仮説 国語科・算数科の学習過程において、繰り返し学習を取り入れ、習熟に応じた指導をするために、再選択の場を設定した学習活動をすれば、基礎学力を確かなものにするができるであろう。</p> <p>検証の内容・方法</p> <p>検証の視点1 繰り返し学習は、基礎・基本の学力を高めることに有効であったか。</p> <p>検証の視点2 習熟に応じて再選択の場を設定した学習活動は、基礎学力を高めることに有効であったか。</p> <p>検証の方法 たかはちタイム、アンケート、プリント、感想文、教師評価、自己評価</p>
--------	--

平成十六年度	<p>テーマ 基礎的な学力を確かなものにする指導の工夫 ～習熟度に応じた少人数指導を通して～</p> <p>研究仮説 国語科・算数科の学習過程において、繰り返し学習を取り入れ、個人差に応じたコース別の学習で、コース選択に再選択する機会を与える弾力的な指導をすれば、確かな学力をつけることができるであろう。</p> <p>検証の内容・方法</p> <p>検証の視点1 繰り返し学習は、基礎・基本の学力を高めることに有効であったか。</p> <p>検証の視点2 習熟に応じて再選択の場を設定した学習活動は、基礎学力を高めることに有効であったか。</p> <p>検証の方法 たかはちタイム、アンケート、プリント、感想文、教師評価、自己評価</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



西志和小学校



昨年度は、全体研修の持ち方があいまいで、研究組織が明確ではなかった。本年度はその反省にたち、授業研究や理論研修を計画的に行い、教職員の意識改革を行った。国語科・算数科の部会研修を充実させた。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

本校の児童は、純真で、頼まれたことや決められたことに対してまじめに取り組むことができる。しかし、その反面、自ら考えて行動したり、挑戦したりするといった積極性に欠ける状況が見られた。積極的に物事に取り組む児童を育てたいと昨年度より、授業改善に取り組み、児童が「わかる」「楽しい」と思う授業作りに取り組んだ。また、基礎的な学力(読む・書く・計算する力)を定着させるために、繰り返して学習する時間(たかはちタイム)を設定し、児童に確かな力をつける取り組みをしてきた。

(1) 15年度1学期意識調査より

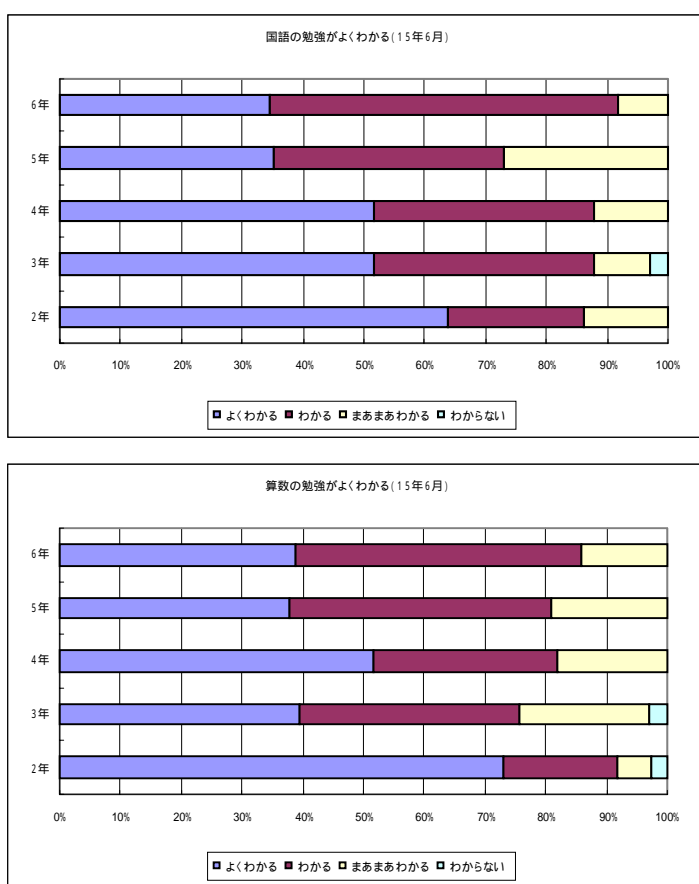


図1は、15年度1学期に行った、国語科・算数科の授業に関する意識調査の結果(四段階評定尺度法)である。この図を見ると、国語科・算数科とも、「とてもわかる」「まあまあわかる」と答えた児童が各学年とも80%に近い数値を示している。平成14年度から授業改善に取り組み、児童にわかる授業をしようと心がけてきたことが、成果を見せ始めていると考えた。児童が、日ごろの学習指導に満足をし、「わかる」という満足感をもっていると考えた。

図1 国語科・算数科に関する意識調査 (15年6月)

(2) 全国標準診断的学力検査 (NRT) 結果より

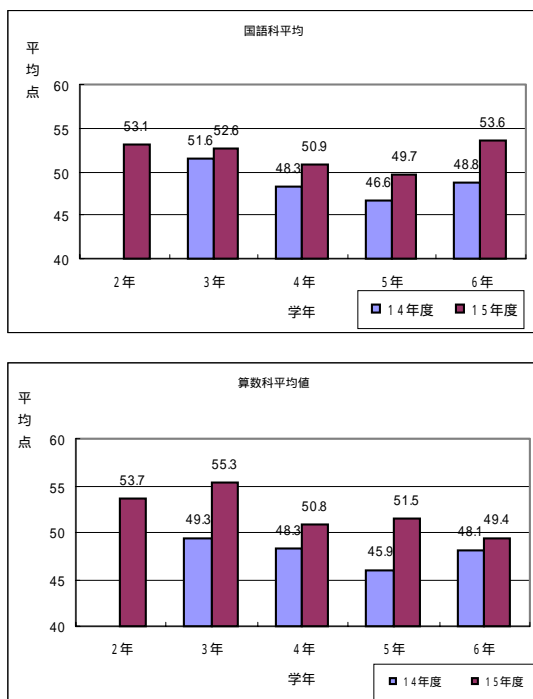


図2は、平成14年6月と平成15年6月に実施した、全国標準診断的学力検査 (NRT) の結果比較である。これを見ると、各学年とも平均値があがっていることがわかる。6年生は、5年生時に教科担任制を取り入れ、国語科の指導を行った。専門性の高い指導を受けることにより、「話す・聞く」力がついてきたと考える。教師が深く教材研究をすることで、「わかる」授業になったと考える。授業改善に取り組んだことで、学力の向上が見られた。

5年生は、4年生時に、算数科において継続してT・Tによる指導を行った。37名という多人数で、また、学力差が大きいという実態から、常に複数の指導者がいる

図2 全国標準診断的学力検査

(NRT) 結果

ことが、基礎的な力を付けることに有効であったと考える。多人数の学級を一人の指導者だけで指導するのではなく、複数の指導者できめ細かな指導をすることが学力の向上に有効であった。

(3) 3年生国語科の実践より

3年生では、「まとめりごとに内ようをとらえながら」の中で、次のようにコースを設定し、伝えたいことを各内容に照らして適切な表現になっているかを確認めたり、表現を工夫したりすることによって、文字言語によって伝え合うことによさを味わうことができるようにした。

表1 コース内容の違い

	コース名	題材	表現	習熟の違い
A	ふしぎコース	教科書	絵 (図鑑)	教科書の内容を、教科書の写真を手がかりにすることにより、伝えたい内容を絵で表し、中心になる言葉をよく選び、相手にわかりやすい言葉を使って、クイズにまとめる。
B	なりきりコース	教科書	文章	教科書の内容を、本文の記述や学習プリントを手がかりに、昆虫になりきって文章を考えることにより、昆虫のひみつについて中心になる文をまとめ、相手にわかりやすい言葉を使って、簡単な本にまとめる。
C	発見コース	他の資料	文章	自分で選んだ本を、ワークシートを手がかりに昆虫の身を守るためのひみつを読み取り、昆虫になりきって文章を考えることにより、中心になる文をまとめ、相手にわかりやすい言葉を使って図鑑にまとめる。

読み取りのプレテスト，アンケートを行った後，コースを体験する。はじめに自分が選択したコースを見直し，目的意識をもってコースを再選択できるようにさせる。児童が自分の目的に合った適切なコース選択ができていれば，表現の目的や相手を意識した効果的な伝え方が工夫でき，学習に対する意欲も持続させることができるであろう。図3「自己評価カードより」は，意欲に関する評価を，4段階で自己評価させたものである。

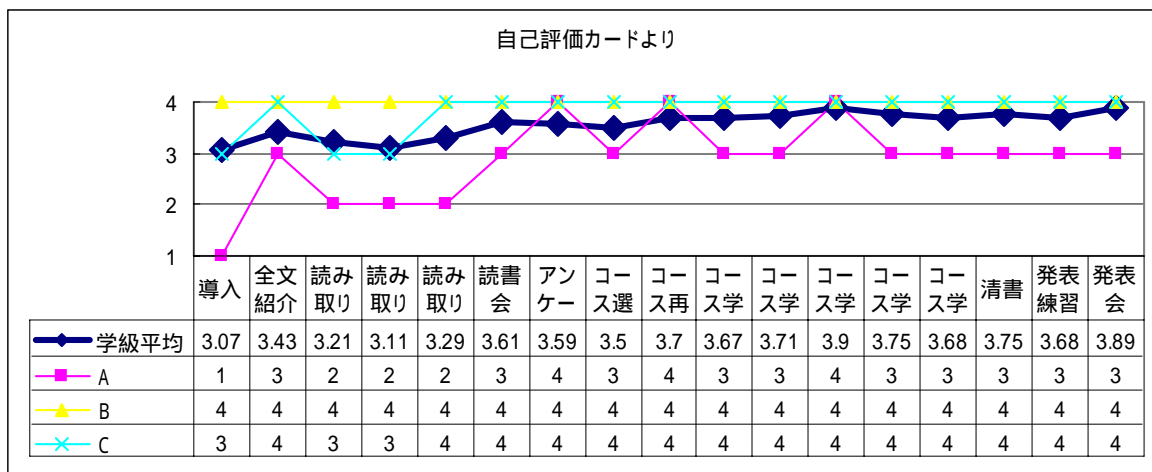


図3 自己評価の変化の推移

コースの選択，再選択を通して適切なコースを選択した抽出児A児・B児・C児と学級平均を表したものである，コース別の学習を始めたあたりから意欲の向上が見られる，また，読み取りの場面での意欲は低い，目的意識をはっきりさせて学習に取り組むと，書く活動の際に学習意欲が高まることが明らかになった。同じ町内の3年生に，自分たちが学習したことを伝えていく目的をもって学習を進めた，そのことも，学習意欲を高める要因であったと考える。

(4) 15年度3学期意識調査より

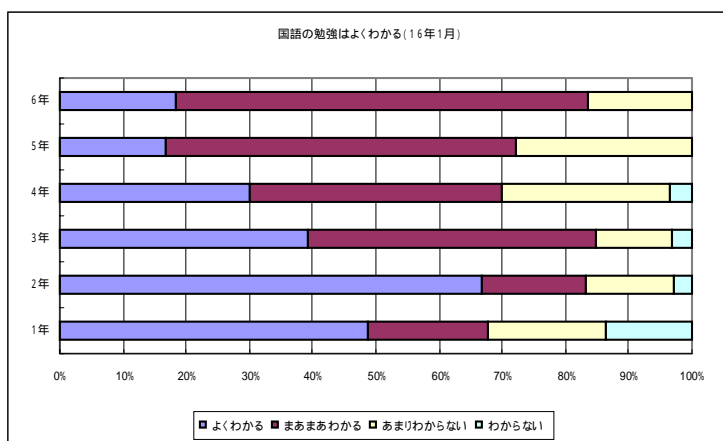
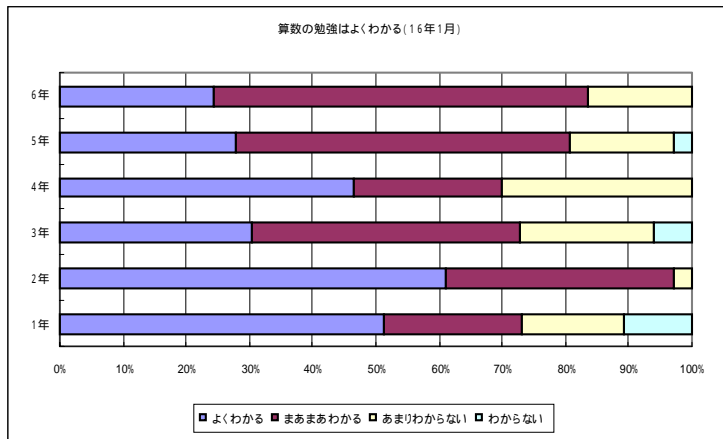


図4は，図1と同じ内容のアンケートを16年1月(15年度3学期)にとった結果である。

図1では，本校の児童が国語科・算数科に対して理解できているような結果



が出ていた。しかし、3学期の意識調査をみると、国語科・算数科とも「よくわかる」「まあまあわかる」と肯定的にとらえている児童は多いものの、1学期の調査と比較すると、その値は低くなっている。

その原因として、3点を考えた。

図4 国語科・算数科に関する意識調査(16年1月)

教科の内容が理解できていない。

自己評価が厳しくできるようになった。

アンケートを採った時期の単元の理解が難しい。

(教科の内容が理解できていない)については、本年度の研究を振り返り、児童に適切な支援を与えることができているかを明確にしていく必要がある。授業研究の場においては、教材研究を深め、支援の計画を立て取り組んでいるが、日々の学習の場における支援が不十分であったと考えられる。また、本校の授業研究の持ち方に、系統性がなく、広がりには欠けたという反省点が挙げられる。授業改善とともに、校内研修の体制を見直す必要がある。

(自己評価が厳しくできるようになった)については、毎時間の学習をふりかえる時間を持ち、支援を行ったことで、児童が自らを厳しくふりかえることができるようになったと考える。満足感を得ることができるように支援をしていく必要がある。

月日	学習内容	ふりかえり	達成度
1/14	「同じ形」をかくて考えよう。	正方形の角は4つあることをわかった。正方形の面積を計算するときに、正方形の面積は、正方形の横の長さ×縦の長さで計算できることをわかった。	4/2/1
1/15	長方形の裏面から、発見すること。	正方形の面積を計算するときに、正方形の面積は、正方形の横の長さ×縦の長さで計算できることをわかった。	4/3/2/1
1/16	等しい比の関係を考えよう。	正方形の面積を計算するときに、正方形の面積は、正方形の横の長さ×縦の長さで計算できることをわかった。	4/3/2/1
1/20	比の性質を使って、問題を考えよう。	正方形の面積を計算するときに、正方形の面積は、正方形の横の長さ×縦の長さで計算できることをわかった。	4/3/2/1
1/21	長方形の面積を□・△に分けるぞ。	正方形の面積を計算するときに、正方形の面積は、正方形の横の長さ×縦の長さで計算できることをわかった。	4/3/2/1
1/22	比について...	正方形の面積を計算するときに、正方形の面積は、正方形の横の長さ×縦の長さで計算できることをわかった。	4/3/2/1

資料1 振り返りカード

(アンケートをとった時期の単元が難しい)については、児童の意識が狭い範囲にあり、「今の学習」について判断をしたと考える。 と合わせ、毎時間の学習に満足感がもてるよう授業改善に取り組みたい。

2 今後の課題

基礎学力の定着を目指す指導法の工夫として、教科担任制・TT による指導，習熟に応じた指導を組み、研究を進めてきた。NRT の結果に見られるように、国語科・算数科における基礎的な力は定着してきたが、児童の満足感を明確に把握することができていない。今後は、児童の意欲をはかる方法を研究するとともに、学習に対する満足感をもつことができるように授業改善に取り組む。

本校の児童の実態として、何事に対しても受け身の児童が多いことがあげられる。児童が意欲的に学習に取り組み、日々の生活に生かすことができるように、興味・関心を喚起することができるような教材を開発する。また、個に応じた教材開発をすることを通して、児童が教科の内容を楽しんで学ぶことができるようにしていく。指導者名、これまで以上に教材研究をし、児童とともに楽しんで学習ができるようになる必要がある。

学力等把握のための学校としての取組み

志和町内の小学校3校で、「学習などに関する調査」(資料2)と「生活などに関する調査」(資料3)を毎学期ごとに実施している。これらの調査は平成14年度広島県

基礎基本・定着状況調査の質問紙をもとに志

学習などに関する調査
()年()番 名前()

これは、あなたの学習などについてたずねるものです。できるだけ正確に答えてください。質問をよく読み、あてはまるものを選び、○を書き入れてください。

	とてもよくあてはまる	ややよくあてはまる	よくあてはまる	あまりよくあてはまる	よくあてはまる	あまりよくあてはまる	よくあてはまる	あまりよくあてはまる
1 自分からいろいろな問題をといてみます。								
2 答えがまちがっていたとき、そのわけを確かめます。								
3 勉強のために、図算などを喜んで利用します。								
4 勉強のために、コンピュータを喜んで使うことがあります。								
5 よくわかるように、勉強のしかたをくふうします。								
6 ふだんから、辞書を立って勉強にとりくみます。								
7 家で、おちついて勉強できます。								
8 授業中、ノートをとります。								
9 先生に話を聞かせるのが、楽しみに思っています。								
10 これまで学習したことについて、もっと学習してみたいことがあります。								
11 学校へ行くのは楽しいです。								
12 国語の授業はよくわかります。								
13 算数の授業はよくわかります。								
14 国語の授業の内容はかんたんだと思います。								
15 算数の授業の内容はかんたんだと思います。								

資料2 学習などに関する調査

あてはまる番号を○でかこんでください。

17 勉強はなんの役にたちますか、次の中から1つえらんでください。

① 運動 ② 仕事 ③ 読書
④ はめられる ⑤ なし
⑥ わからない

生活などに関する調査
()年()番 名前()

これは、あなたの生活などについてたずねるものです。できるだけ正確に答えてください。質問をよく読み、あてはまるものを選び、○を書き入れてください。

	とてもよくあてはまる	ややよくあてはまる	よくあてはまる	あまりよくあてはまる	よくあてはまる	あまりよくあてはまる	よくあてはまる	あまりよくあてはまる
1 毎朝朝顔を食べます。								
2 家の人とよく話をします。								
3 家の人は、勉強しなさいとよくいいます。								
4 蒸んぶり焼たりしたとき、結果できる人はいいます。								
5 あなたをよくわかってくれた先生がいます。								
6 あなたをよくわかってくれた友だちがいます。								
7 家の人は、自分のことをわかっていてくれると思います。								
8 こまっていると友だちが助けてくれます。								
9 友だちの顔が楽しいです。								
10 授業の準備ができています。								
11 授業の準備は、かたうと思えます。								
12 自分のよいところをいうことができます。								
13 自分の役割を最後までやりとげます。								
14 人の気持ちを察して察知します。								
15 いろいろなことを読んで習います。								
16 人から尊敬されるといつまでも気がなります。								

資料3 生活などに関する調査

あてはまる番号を○でかこんでください。

17 1週間(月～日)、1日勉強(読書)の回数(勉強)はどのくらいですか?

① していない
② 1～2回
③ 3～4回
④ 5回以上

18 ふだん(月～日)、1日勉強(読書)の回数(勉強)はどのくらいですか?

① していない
② 1回以上少ない
③ 1回以上多い
④ 2回以上多い
⑤ 3回以上多い

19 1週間(月～日)、1日勉強(読書)の回数(勉強)はどのくらいですか?

① 少ない
② 1回以上少ない
③ 1回以上多い
④ 2回以上多い
⑤ 3回以上多い

20 1ヶ月(月～日)、1日勉強(読書)の回数(勉強)はどのくらいですか?

① 少ない
② 1回以上少ない
③ 1回以上多い
④ 2回以上多い
⑤ 3回以上多い

和町学力向上推進事業（プロジェクトX A部会）で作成したものである。質問の内容は、資料に示すとおりであるが、これらの調査によって、現在の志和町や、本校児童の傾向を知ることができている。

志和っ子やる気チェックテスト(算数)

NO.2 (高)

()年()番 名前()

質問	よくある	たまにある	よくない	よくない
これは、あなたの学習などについてたずねるものです。できるだけ正確に答えてください。質問をよく読み、あてはまるものを選び、○を書き入れてください。				
1 教科書・ノート・下じき・ものさしなど、算数の学習に必要なものを、わずれずに持っている。				
2 授業中、自分の意見を発表している。				
3 友だちの授業や先生の話を、最後まできちんと聞いている。				
4 計算をすることが好きである。				
5 基本や重さ、面積や体積などを自分で調べてみる学習が好きである。				
6 図形やグラフなどを自分で作ったりのりする学習が好きである。				
7 文章問題を解くことが好きである。				
8 分からないところがあれば、先生や友だち、お家の人などに聞いて、きちんと解決するようにしている。				
9 単元のテストの前には、教科書やドリル、ノートの見直しをするなど、自分で考えた学習をしている。				
10 テストなどでまちがえた問題は、正しくやり直しをしている。				
11 家に帰って、宿題以外で、算数の学習を行っている。				
12 自分なりに算数の目標（年間・学期・単元など）を決めている。				
13 授業の中で、「分かった、できた」という喜びを感じたことがある。				
14 算数の学習が好きである。				

志和っ子やる気チェックテスト(国語)

NO.2 (高)

()年()番 名前()

質問	よくある	たまにある	よくない	よくない
これは、あなたの学習などについてたずねるものです。できるだけ正確に答えてください。質問をよく読み、あてはまるものを選び、○を書き入れてください。				
1 教科書・ノート・下じきなど、国語の学習に必要なものを、わずれずに持っている。				
2 授業中、自分の意見を発表している。				
3 友だちの授業や先生の話を、最後まできちんと聞いている。				
4 ノートを使うとき、文字をていねいに書いている。				
5 文章（日記・作文など）を書くことが好きである。				
6 読書することが好きである。				
7 読書をするのが好きである。				
8 読書法、学級文庫、としよまるなどを利用して、自分から読みたい本をさがしている。				
9 意味の分からない言葉は、辞典を引いたり先生やお家の人に聞いてたりして、調べるようにしている。				
10 テストなどでまちがえた漢字は、正しく書けるように練習している。				
11 家に帰って、宿題以外で、国語の学習を行っている。				
12 自分なりに国語の目標（年間・学期・単元など）を決めている。				
13 授業の中で、「分かった、できた」という喜びを感じたことがある。				
14 国語の学習が好きである。				

また、志和町では、「志和っ子やる気チェックテスト」(資料4)を実施している。この調査は、国語科・算数科の学習姿勢についてたずねている。資料の調査に加え、より具体的な質問がなされているので、国語科・算数科における情意面の調査ができる。

資料4 志和っ子やる気チェックテスト

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年10月に、中間報告会として研究発表会を実施した。広島県内だけでなく、県外からの参加者もあり、参加者300名を越す研究会となった。当日は、9学級で8提案の授業をし、参加者から助言を受けた。当日は、香川県飯山北小学校の高橋浩司教諭の講演を持ち、習熟度別指導、少人数指導の取り組みを聞いた。

本校の研究についてはHP上に公開している。また、志和町としての研究紀要を本年度末までに作成し、研究の方向性を明らかにする。保護者や地域に向け、フロンティア事業の公開をするために、昨年度に引き続きパンフレットを作成する。これは、来年度初めに町内全戸配布の予定である。

本校の国語科の取り組みについては、本年度第1回学力向上推進協議会において、本校教諭が実践発表をし、公開をした。低学年国語科における習熟度に応じた指導について発表をし、助言を受けることができた。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	1 5年度からの新規校	1 4年度からの継続校		
【学校規模】	6 学級以下	7 ~ 1 2 学級		
	1 3 ~ 1 8 学級	1 9 ~ 2 4 学級		
	2 5 学級以上			
【指導体制】	少人数指導	T . T による指導		
	一部教科担任制	その他 (習熟度別指導)		
【研究教科】	国語	社会	算数	理科
	生活	音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	